

財務諸表に対する注記

平成26年度

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

基本財産である投資有価証券

期末日の市場価格等に基づく時価法によっている

(2) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は定率法によっている

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次のとおりである

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	1,545,350,000	0	0	1,545,350,000
投資有価証券	1,671,000,000	0	△ 368,250,000	1,302,750,000
小 計	3,216,350,000	0	△ 368,250,000	2,848,100,000
特定資産				
周年記念準備金 積立	40,000,000	5,000,000	0	45,000,000
周年記念準備金 指定寄附	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	50,000,000	5,000,000	0	55,000,000
合 計	3,266,350,000	5,000,000	△ 368,250,000	2,903,100,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は次のとおりである

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの 充当額)	(うち一般正味財産からの 充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
預金	1,545,350,000	(1,302,850,000)	(242,500,000)	—
投資有価証券	1,302,750,000	(1,302,750,000)	—	—
小 計	2,848,100,000	(2,605,600,000)	(242,500,000)	—
特定資産				
周年記念準備金	55,000,000	(10,000,000)	(45,000,000)	—
小 計	55,000,000	(10,000,000)	(45,000,000)	—
合 計	2,903,100,000	(2,615,600,000)	(287,500,000)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
備 品	280,560	276,103	4,457

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産(運用益)から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
指定正味財産受取利息の振替額	2,409,165
指定正味財産受取配当金の振替額	52,500,000
合 計	54,909,165